



菊川市議会だより

議会のひろば

2025.3.6 臨時号

新しい菊川市議会議員が 決まりました

新議会構成決定！……………	P01
私の抱負……………	P03
会派の紹介……………	P07



菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



新たな議会構成が決定！

2月3日に2月臨時会が開催され、新しい議会構成が決まりましたので紹介します。



議長
あかほり ひろし
赤堀 博



副議長
こばやし ひろふみ
小林 博文

常任委員会

総務建設委員会

●所管事項

総務部、危機管理部、企画財政部、建設経済部、生活環境部（下水道課および水道課の所管事項）、消防本部（消防署含む）、会計課、監査委員事務局、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、農業委員会、他の常任委員会の所管に属さない事項



委員長
つばい なかじ
坪井 仲治



副委員長
わたなべ おさむ
渡辺 修



くろだ しげる
黒田 茂



しらまつ みつよし
白松 光好



ふじわら まきこ
藤原 万起子



いし い ゆうた
石井 祐太



ひがし かずこ
東 和子



おりべ ひとみ
織部 ひとみ



あかほり ひろし
赤堀 博

教育福祉委員会

●所管事項

生活環境部（下水道課および水道課の所管事項を除く）、健康福祉部、こども未来部、教育委員会、市立総合病院



委員長
にしした あつき
西下 敦基



副委員長
すとう ゆき
須藤 有紀



ほんだ こういち
本田 高一



まつなが はるか
松永 晴香



おくの としお
奥野 寿夫



おりべ みつお
織部 光男



こばやし ひろふみ
小林 博文



やました おさむ
山下 修

議会運営委員会

委員長	山下 修
副委員長	東 和子
委員	黒田 茂
委員	奥野 寿夫
委員	渡辺 修
委員	坪井 仲治
委員	山下 敦基

用語解説

○委員会

議会で取り扱う問題は多く、内容も幅広い分野にわたるため、これらをいくつかの部門に分けて、専門的、能率的に審査・調査する委員会を設けています。委員会には、常任委員会、議会運営委員会と必要に応じて設置される特別委員会があります。

○会派

政策を中心とした同一の理念を共有する議員で構成する政策集団のことです。菊川市議会では、一人会派は認めていません。

○一部事務組合

複数の市町等が、単独では対応できない、あるいは広域で行った方が効率的な事務を共同で行うため設立された特別行政組織です。

会派構成

届出順

みどり21

代表者
小林 博文
所属議員
松永 晴香
白松 光好
渡辺 修
須藤 有紀
東 和子
坪井 仲治
織部 ひとみ
山下 修
赤堀 博

市民ネット

代表者
山下 敦基
所属議員
藤原 万起子

菊川ゆめ未来

代表者
黒田 茂
所属議員
本田 高一

会派に所属しない議員

奥野 寿夫
石井 祐太
織部 光男

一部事務組合議会議員

牧之原市菊川市学校組合議会

●構成市 牧之原市・菊川市
●選出議員
松永 晴香・石井 祐太・渡辺 修

東遠学園組合議会

●構成市町 掛川市・御前崎市・菊川市・森町
●選出議員
小林 博文・藤原 万起子

小笠老人ホーム施設組合議会

●構成市 掛川市・菊川市・御前崎市
●選出議員
黒田 茂・奥野 寿夫

中東遠看護専門学校組合議会

●構成市町 磐田市・掛川市・袋井市・御前崎市・菊川市・森町
●選出議員
坪井 仲治・織部 光男・山下 修

東遠地区聖苑組合議会

●構成市 掛川市・菊川市
●選出議員
赤堀 博・本田 高一・白松 光好・織部 ひとみ・小林 博文

東遠広域施設組合議会

●構成市 御前崎市・菊川市・掛川市・牧之原市
●選出議員
黒田 茂・須藤 有紀・東 和子・山下 修

掛川市・菊川市衛生施設組合議会

●構成市 掛川市・菊川市
●選出議員
赤堀 博・東 和子・織部 光男・山下 敦基

東遠工業用水道企業団議会

●構成市 掛川市・菊川市・御前崎市・牧之原市
●選出議員
赤堀 博・坪井 仲治



【本田 高一】

「市民のアイデアを市政に反映する。」楽しく暮らせるまちづくりを目指して

少子高齢社会、デジタル社会、働き方改革等々、私たちを取り巻く生活環境が著しく変化している時代、市民の皆さまが生き甲斐を感じ、楽しく暮らせるまちづくりを、市民の皆さまとともに考えていきたいと思っています。そのためにも、市民参画の組織作りが必要です。例えばひとつの公園を作る場合でも、一部の人がデザインするのではなく、行政が中心となり、小さなお子さまを持つご家族、青少年、働き世代、ご高齢者、障がいをお持ちの方、市内の商店、会社等、様々な団体の方々がパートナーシップの基、アイデアを出し合えるような組織づくりを、提案したいと考えております。そうすることで、時代に合った新しいコミュニティが生まれ、持続可能な社会が実現するのではないのでしょうか。



【黒田 茂】

あるべき姿の議員像目指し

この度、市民の皆さまより身に余る多くの御支持を賜り、緊張感漲る議員活動をスタートさせていただきました。あるべき姿の議員像を妥協なく追い求め、『何のために誰のために』を議員活動の指針として情熱を持って行動して参ります。皆さまからの要望に対して出来ない理由を並び立てるのではなく、同じ目線に立ち、如何に出来るかを共に考え、汗をかき知恵を出し解決に繋げる行動をします。

次の五項目が私の任期中の提言です。

- 一、議員定数削減
- 一、小中学校の給食無償化
- 一、防災強化と備蓄倉庫の設置
- 一、菊川市の名産品づくり
- 一、市民の憩いの場づくり

私達の『ふるさと菊川市』をぜひとも県内一誇れる市にしようではありませんか！その目的達成のためには情熱を持って行動するのみです。任期は1期4年ですが、時代の歩みはネット社会で超加速に推移しております。1年1年勝負と捉え、真摯に議員活動に邁進致しますので皆さまの御理解と御指導そして御教授の程、お願い申し上げます。



【松永 晴香】

菊川市の未来をともに創る

菊川市のみに関わらず、日本が抱えている社会問題である少子化や子どもの貧困化。これに歯止めをかけるいかなければ菊川市の未来が開けていくことは難しい。それを防ぐ対策には子育ての生の声を織り込む必要があります。私は、子育て世代の代弁をしていく所存でございます。

まずは『子育て環境の確立』子育てに関する金銭的な不安の解消や働きながらでも子育て可能な環境を作り、菊川で子育てをしたいと思える環境を整えてまいります。また、地域企業や施設と更に連携を図り子どもたちが学校だけでは補うことが出来ない社会に出ても通用する『生き抜く力』を持てるよう学びの環境を整えていく。菊川の未来、こどもたちの未来にしっかりと責任を持ち取り組みます。



【白松 光好】

新たな挑戦

地元金融機関に37年間勤務してきました。60歳で定年退職し、1年間だけ製造業を経験させていただきました。今回地元議員の引退の後を引き継ぎ菊川市の益々の発展に粉骨砕身して役割を全うしていく所存であります。

金融機関に勤務している時は、毎日数字との格闘で数字を見ない日は1日もありませんでした。今回このようなチャンスをいただきましたので、菊川市の財政をしっかりとチェックしていき、市民の皆さまが安全で・安心して暮らせる菊川市をめざしていきたいと考えております。まだまだ未熟者でありますすがやる気は人一倍ありますので、どうか市民の皆さまが厳しい目で見ていただき、それを励みにしてより良い菊川市にしていきたいと決心を新たにしているとあります。



【奥野 寿夫】

安心して暮らせる希望が持てる
菊川市に

収入が増えない中で物価高騰が相次ぎ、税金や社会保険料の負担も大きく、多くの市民が日々の暮らしや将来に不安を感じています。そんな市民の不安を少しでも減らし、安心して暮らせる希望が持てる菊川市をめざします。

障がい者、生活困窮世帯はもとより、生活苦や不安を訴える人が多い子育て世帯や高齢者の負担を軽減するため、学校給食費や保育料の無償化、国保税の負担軽減、補聴器の購入助成などに取り組みます。また、農業など産業の活性化、教育文化の充実などの課題にも、市民とともに取り組みます。

さらに、南海トラフ地震や気候危機による風水害への対応を強め、危険な浜岡原発の再稼働、リニア中央新幹線工事による大井川用水の減少には反対していきます。



【藤原万起子】

対話を大切に、菊川の未来に備える

菊川大好き、菊川ファンを増やすため、多くの市民との対話をする場を増やし、市民参加型の政策提言をしていきます。

「命を守る」地域の安全と防災対策の強化、緊急時の対応、女性の防災組織への参画推進。

「未来につなぐ」地域社会への貢献。地域社会活性化の推進。こどもたちの安全を守り、豊かな教育を支える環境づくり。

「全世代いきいきと」生涯現役。性別、年齢関係なく働く人たちが健康で、安心して幸せに働ける仕組みづくり。ひとりぼっちのいない誰もが穏やかな日常を過ごせるまちづくり。

これまでの市民活動の経験を活かして、今後起こりうる様々な課題に積極的に取り組み、いざという時困らないまちのために、長い目線でのまちづくりをしていきたいです。



【石井 祐太】

誰もが活躍できる菊川へ

菊川市最大の魅力は、多くのアイデアを持つ人々が居ることだと思います。

その可能性を最大限に活かし、誰もが自由に活動できる街をつくるためには、基礎自治体の強化が不可欠です。

私は、その実現のために「市政の見える化」「福祉の充実」「遊び場の充実」を推進します。市政を透明化し、市民の皆さまが行政の動きを把握できるようにすることで、まちづくりへの参加を促します。福祉の充実により、高齢者や子育て世代が安心して暮らせる環境を整え、さらに公園等の遊び場の充実を進める事で、こどもたちの健やかな成長を支えます。

私は「聴く側」の精神を忘れず、市民の皆さまの声を大切にしながら、誰もが活躍できる菊川を実現するために尽力してまいります。



【渡辺 修】

人口減少に向かう街

菊川市は全国的な人口減少傾向の中で、比較的緩やかな推移を示し、前回国勢調査では県内でも人口増加を実現した4自治体のひとつです。

しかし、出生数が300人以下へと減少する現実を踏まえ、次世代を担うこどもたちの教育環境の充実が急務となっています。

茶農家として、また農業に携わる者として、地域農業の課題を肌で感じています。茶業、稲作、野菜栽培における担い手不足は深刻化し、荒廃農地の増加が進んでいます。

2期目では、教育支援の拡充と、農業後継者の育成、荒廃農地の有効活用に向けた施策の実現に全力を注ぎます。こどもたちの未来と農業の持続的発展の両立を目指し、次世代に誇れる菊川市を築いてまいります。



【須藤 有紀】

菊川市の魅力を世界へ

多くの皆さまのご支援をいただき2期目を迎えられました事、心より感謝申し上げます。「生まれてよかった、住んで良かった」と思えるまちづくりを目指し、菊川市の魅力をさらにPRしていきたいと考えています。2期目は農業と教育に力点をおいて活動してまいります。

農業に関しては、1期目に引き続き深蒸し菊川茶の国内外へのPRを強化し、販路拡大、認知度向上を目指します。また、産業支援センターと連携し、農業とベンチャー企業のマッチングによるイノベーションの創出を目指します。稼げる農業の形を模索してまいります。

教育に関しては、学力向上を目指すとともに、充実した心の教育や歴史教育を主眼に、自らに誇りを持てる教育を目指してまいります。

御指導賜りますようお願い致します。



【東 和子】

より住みやすい地域を目指して

菊川市の人口長期的見通しによると人口減少が課題になっています。それにより様々な影響が生じつつあります。そのためにもより魅力ある地域にするため市民の声を市政に生かしていきたいと考えます。

【菊川駅南北自由通路整備事業】

市民生活において交通の利便性を図るとともに周辺住民がより生活しやすいコミュニティづくりをしていきたいと考えます。

【河川改修事業の促進】

地球温暖化による異常気象のため過去の治水対策では対応できないことを考えますと、被害を防ぐための治水対策を、住民に寄り添いながらともに進めていきたいと考えます。

【農業振興の促進】

農業者の高齢化と担い手不足による地場産業である茶業の課題に取り組んでまいります。



【坪井 仲治】

魅力あるまち菊川市の創世

2期目も「常に全力」で取り組みます！この信念を念頭に置き、魅力ある誇れる菊川市の創世を目指し、この菊川で安心安全に「仕事をする」「子育てをすること」「老いを迎えること」を含めて、菊川市で一生暮らしていこうと思っていただけの方がひとりでも増えるよう努力してまいります。

そのためにも、

①災害に強い地域づくり

②福祉の充実

③男女共同参画の推進

④農業振興

⑤産業振興

⑥文化・スポーツ振興

を重点において進めてまいります。

これらの施策を進めるために、現場に出向いてその状況をしっかりと把握するとともに、市民の皆さまの声を広くお伺いしていきたいと思っております。



【織部ひとみ】

菊川市の希望の未来へ

1期4年間で皆さまから多くの声をいただき市政につなげてまいりました。2期目もさらに前進し、菊川市の未来溢れるために、少子高齢化・人口減少といった大きな変革期にあっても、市民一人ひとりが安心して暮らせるまちづくり対策に取り組んでまいります。子育て支援、高齢者の医療・介護サービスを安心して受けられる環境を構築、そして健康寿命対策を推進してまいります。若者や女性が活躍出来る場所づくり対策に取り組んでまいります。

菊川駅南北自由通路開設により菊川市への移住人口対策が今後の菊川市の未来へつながる課題を検討し、「みどりときめきたしかな未来菊川市」の実現に取り組んでまいります。近年の気候変動により、菊川市での多く発生する水害においてはさらに防災・減災の強化を図ってまいります。



【織部 光男】

3期目の責任

高齢化社会の現実を身近な地域で感じるようになりました。昔、標準的家族構成は夫婦と子供2人でした。今、世帯数の3割をかく時代です。戦後80年目の今年、社会の変貌を認識し菊川市政の政策変更をしなければなりません。257億の市債（借金）。市税収入は約75億この現実を直視して美辞麗句を並べることはできません。議員の責任は議決権の行使が最大の使命であります。私は過去8年間財政健全化のために是々非々で反対討論で代案と反対理由を述べてきました。議会だよりでは〇×だけが広報されています。私は反対理由を市民の皆さまに知っていただきたいのです。民主主義実現には時間は掛かるものですが、4年間努力修養していきます。



【小林 博文】

議会内の調和を図る

これまでの議員活動を通じ、多くの先進的な議会を見てきました。そこで感じたのは、どの議会も組織内の調和がとれているという点です。考え方や重要とみる政策等に違いはあれ、互いの考えを理解し、認め合うという合意形成が図られています。本議会もそれらの議会に負けず、議会改革や協力体制の強化を図り、組織力を上げてきました。今回、17名中7名が新たに議会の仲間となりました。菊川市の発展と市民福祉の向上に寄与するべく、一致団結して活動を進めていく必要があります。これまでの議会活動に携わってきた経験を活かし、その要としての役割を果たしていきます。それとともに市民の皆さまの声を市政に反映することが議員に課せられた使命であることを肝に銘じて活動してまいります。



【西下 敦基】

幸福実感度の高いまちへ

10年先も、20年先もみんなが笑って暮らせる菊川市を目指して2期8年間の活動をしてまいりました。今後においても、建設的な議論を心掛け、より良いまちを目指して様々な提案を行い市民の福祉向上に資するよう尽力をしていきます。社会においては、各種の災害、温暖化や少子高齢化、人口減少、物価高、国際情勢など様々な要因により課題が山積しております。このような中、「災害に強いまちづくり」「活力あるまちづくり」「子育てにやさしいまちづくり」「笑顔あふれるまちづくり」の4つのまちづくりを柱に、市民の皆さまがより幸せを感じて、未来に希望を持てるような菊川市になるよう責任をもって尽力をしていきます。



【山下 修】

魅力ある菊川市に向けて

本年は、新市菊川市が誕生して「たち」を迎える年となりました。さらに戦後80年となる大きな節目の年でもあります。社会情勢が目まぐるしく変化する中で、多くの課題に対して自治体運営の適切な対応が求められています。『温故知新』と申しますが、先人の皆さまが築き上げてこられた郷土とその歴史を振り返り、守るべきことはしっかりと温め、新たな取り組みへと発展すべきものを正しく見極めて進めなければなりません。令和8年よりスタートする第3次総合計画は、将来の菊川市民の福祉を向上させ、持続可能な菊川市を目指す重要な計画策定です。菊川市民の皆さまが、安全と安心を感じ、生きがいの持てる、そして笑顔の溢れるまちとなるよう努力します。

私の抱負



【赤堀 博】

笑顔あふれるまちづくり

少子高齢化が急速に進む日本の社会、菊川市も例外ではありません。しかし、緑豊かな自然環境の中、子どもたちがのびのび育ち誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

①子育て支援、子育て世代が安心して働くことのできる環境づくりに努めます。

②高齢者の皆さまが日々不安のない生活が送れるよう、医療、福祉、介護、様々な生活支援の拡充に努めます。

③農業をはじめとする産業振興に努めます。

④ＪＲ菊川駅橋上駅舎、南北自由通路建設、駅北開発を推進します。

⑤近年の異常気象による豪雨災害やいつ来てもおかしくないとわれている大震災に備え自主防災組織の充実に努めます。市民の皆さまの御理解、御協力をお願い致します。

みどり21

私たち党派みどり21は、菊川市「みどり次世代」人と緑、産業が未来を育むまち」の基本理念、第2次総合計画「みどり」ときめき、たしかな未来「菊川市」を念頭に置き、議会活動を行なう議員で組織しています。

議員相互間の議論を尊重し、政策力の向上を図るとともに、保守政治の理念を共有している集団であります。党派内議員が、それぞれ推進する政策立案能力の向上に努めるために研修会や勉強会等へ積極的に参加し、党派内での情報共有を図っています。各議案審査から市民生活に直結した課題まで幅広く取り組み、多様な意見を反映させて全力で課題解決に取り組んでまいります。

市民ネット

少子高齢化や人口減少、地球温暖化などによる各種の災害や感染症の発生、世界情勢の変化による経済や人権の不安定化など、めまぐるしく変化する情勢の中、市民の安全・安心

会派の紹介

心および福祉向上へ議員として貢献をしていかなければなりません。市民ネットは今までも高くアンテナを張り情報収集を行い、ネットワークを築いて活動を行ってきました。今後も働く方々や市民の皆さまの声を取り入れ、共にまちの課題を解決する実効性のある政策立案・提案を継続していきます。ちょうど良い規模の菊川市だからこそ、一人ひとりに寄り添った市政運営を行い幸福実感度の向上を目指していくことが出来るよう、市民ネットとして活動してまいります。

菊川ゆめ未来

この度、黒田茂・本田高一の新人議員2名で新党派『菊川ゆめ未来』を立ち上げました。先の選挙で議会の景色が大きく変わりました。既存の党派への加入ではなく選挙で皆でまに訴えたことの実現、新しい議会の幕開けに新風を興したく勇氣と情熱を持って歩を進めました。特定の人や組織のために動く党派ではなく、『菊川ゆめ未来』は広く皆さまに平等に相對します。【私たちのまち菊

川市」に暮らすことからも高齢者の皆さまが将来に希望を持って夢を語り合える菊川市にするために『菊川ゆめ未来』と命名しました。市民の皆さまは政治を諦めることなく、我々の動向に期待し注視いただけたら幸いです。

真摯に政治に向き合ってまいりますので宜しくお願い申し上げます。

NEW 議会だより 編集委員です！

●委員長 渡辺 修

●副委員長 松永 晴香

●委員 黒田 茂

藤原万起子
須藤 有紀
小林 博文



処分するときは雑がみとしてリサイクルを！



© 菊川市